

# Blitz

Art Photo Site Tokyo

6-20-29 Shimomeguro, Meguro-Ku, Tokyo 153-0064 Japan  
TEL 03-3714-0552 FAX 03-3714-2571 E-mail info@artphoto-site.com

報道各位

令和4年1月吉日

## Michael Dweck Photographs 2002-2020 マイケル・ドウェック 写真展 2022年 2月16日 (水) ~ 4月24日 (日) 1:00 PM~6:00 PM / 休廊 月・火曜日 / 入場無料

新型コロナウイルスの感染状況によっては入場制限や予約制を導入します。詳しくは公式サイトで発表します。

### ブリッツ・ギャラリー

〒153-0064 東京都目黒区下目黒6-20-29  
JR目黒駅からバス、目黒消防署下車徒歩3分 / 東急東横線学芸大学下車徒歩15分

このたびブリッツ・ギャラリーは、米国ニューヨーク出身の写真家/映画監督マイケル・ドウェック(1957-)の写真展「Michael Dweck Photographs 2002-2020」を開催いたします。本展は、ドウェックがグレゴリー・カーショウとともに監督/制作した第2作目の長編ドキュメンタリー映画「The Truffle Hunters (白いトリュフの宿る森)」の日本での劇場公開を記念して開催されます。

同作は北イタリア ピエンモンテ州の秘密の森で、世界で最も高価な食品とされる<白トリュフ>を探し求める老人と忠実な犬たちの物語です。ドウェックは、何世代にもわたって伝えられてきた伝統的なトリュフの発掘方法を知っているごく少数の寡黙な人々と3年をかけて交流し信頼関係を構築します。そして現代社会では忘れ去られた、まるでおとぎ話の世界の様な彼らのシンプルで美しいライフスタイルの映像化に初めて成功します。

本展では本映画から、トリュフ・ハンターと犬、北イタリアの美しい自然風景などの写真作品を5点セレクトして展示。作品の販売収益の一部は、映画の制作地であるイタリアのトリュフの森を守るための保護プログラム「Friends of the Truffle Hunters Conservation Program」(\*1)に寄付されます。

また、ドウェックのいままでの主要シリーズ「The End: Montauk, N.Y. (ジ・エンド・モントーク, N.Y.)」、「Mermaids (マーメイド)」、「Habana Libre (ハバナ・リブレ)」のアイランド三部作から、代表作も含めた約18点を展示いたします。写真から映像作品まで、幅広い分野で活躍するヴィジュアル・アーティストのドウェック。本展は彼のいままでのキャリアを本格的に回顧する写真展です。会場では「The End: Montauk, N.Y.」10周年特別版など、過去の写真集を限定数販売する予定です。

ぜひご覧いただくとともに、貴媒体においてのご紹介をよろしくお願いいたします。

# Blitz

Art Photo Site Tokyo

6-20-29 Shimomeguro, Meguro-Ku, Tokyo 153-0064 Japan  
TEL 03-3714-0552 FAX 03-3714-2571 E-mail info@artphoto-site.com

(...2/2)

## マイケル・ドウェック (Michael Dweck)

1957年米国ニューヨーク州生まれ。長年広告業界で活躍した後、40歳代に写真家に転身。ロングアイランドのモントークにおける、観光地化により消え行く地元サーフィン文化をドキュメントした「The End: Montauk, N.Y.」で2002年に作家デビュー。2008年に「Mermaids (マーメイド)」、2011年に「Habana Libre (ハバナ・リブレ)」を相次いで発表して、作家としての地位を確立します。2018年には、米国地方都市の消えゆく伝統的ストックカーレースを舞台にした長編ドキュメンタリー映画「The Last Race」を、グレゴリー・カーショウとともに監督/制作しています。

「白いトリュフの宿る森」は、ドウェックがカーショウとともに共同で監督/制作した第2作目の長編ドキュメンタリー映画です。第73回全米監督協会賞ドキュメンタリー映画監督賞、第35回全米撮影監督協会ドキュメンタリー賞等を受賞しました。世界で最も希少な高額食材のアルバ産<白トリュフ>。未だかつて栽培が行われたことはなく、どのように、なぜそこに育つのか解明されていません。

ドウェックは、その産地である北イタリアのピエモンテ州を旅した時に、夜になると森に<白トリュフ>を探しに出かける老人たちがいる……という言い伝えを耳にします。彼がその話に興味をもったことがきっかけで、映画制作の企画が動き出しました。危険のつきまとう森の奥深く、老人たちは訓練された犬たちと共に、何世代にも伝わる伝統的な方法で<白トリュフ>を探し出します。ドウェックは約3年間にわたり彼らに密着して行動を共にします。そして信頼関係を構築したうえ、誰も成し遂げることがない彼らの昔ながらのライフスタイルの撮影に成功しました。そこに映し出されるのは、大地に寄り添い、人や動物とのつながりを大切にする、まるでおとぎ話のような世界で生きる人たちでした。ドウェックのカメラは、彼らの昔ながらの生活と現在のトリュフをとりまく様々な状況との間を行き来します。そして、現代社会に横たわる気候変動、森林破壊、貧富の格差拡大などが提示されるのです。

同作は2022年2月18日から、Bunkamura ル・シネマ他でロードショーされます。

### (\*1) 「Friends of the Truffle Hunters Conservation Program」

マイケル・ドウェックとグレゴリー・カーショウは、同作を撮影中にトリュフ・ハンターとその世界に魅了されました。そして撮影地の森を保全・保護するためにこのプログラムを結成します。これは映画を支えてくれた多くの個人篤志家の人々の惜しみない寄付によって成り立っています。彼らが最初に行ったのは、ピエモンテ地方にある55エーカーのトリュフの森を購入し、保護することでした。この保護活動は、15人のトリュフ・ハンターのグループ (Terre Di Tartufi) がボランティアとして現地で管理し、保護活動のサポートや将来の世代への教育を行っています。作品の販売収益の一部は、このプログラムに寄付されます。

・お問い合わせ先 ブリッツ・ギャラリー <http://www.blitz-gallery.com> TEL 03-3714-0552  
写真展の情報・画像は [http://www.artphoto-site.com/inf\\_press.html](http://www.artphoto-site.com/inf_press.html) でご覧いただけます。